

平成24年度から平成34年度までの環境将来像

みんなの心が育む 人と環境にやさしいまちしもつま

基本目標 3

循環型 社会への まちづくり

課題

気候や生態系に影響を及ぼす地球温暖化問題を認識し、循環型社会を進める必要があります。また、環境美化運動を推進するなど、将来の環境対策の担い手である子どもたちに環境への関心と理解を深めてもらう必要があります。

目標

資源の消費や循環について思考し、「足るを知る者は富む」のライフスタイルを目指します。

- ポイ捨てのない景観の保全を市民みんなで進め、環境に関する学習の機会を設けます。
- 分別収集や資源の再循環など廃棄物の適正処理を推進します。

環境指標 (達成年度:平成29年度)

- 市民清掃デー参加人数
10,000人/年
 - 環境学習講座の開催数
6回/年
- など



自治会や市内事業所が協力する「市民清掃デー」

基本目標 2

みどりと 清流の まちづくり

課題

希少な動植物の保護に努め、農地や山林の持つ物質循環機能を活かし、それらを保全する必要があります。また、歴史的・文化的遺産が残る公園や緑地の保全に留意することが求められます。

目標

動植物に恵みを与える緑や水辺の保全にとどまらず、歴史的・文化的遺産との関連性が深い豊かな環境を守ります。

- 水辺や山林を生態系に配慮した良好な状態に整備します。
- 歴史・文化の継承に配慮した環境を保全する土地の利用を図ります。

環境指標 (達成年度:平成29年度)

- 河川学習会の実施回数
14回/年
 - 環境保全型農業取組者数
5団体
- など



小貝川ふれあい公園で確認される「オオムラサキ」

基本目標 1

快適な 住環境の まちづくり

課題

大気や水に対する不安は人々を不快にさせることから、その監視や適正な改善策が求められます。また、快適な住環境を形成する施設や住宅地の適正な維持管理が求められます。

目標

まちを形成する公園や建物を適正に管理し、清浄な水や大気が保全された、やすらぎのまちの実現を目指します。

- 子どもから高齢者まで利用しやすい公園や施設の整備を目指します。
- 公共交通の利用を取り入れた環境に配慮した交通機関の利用を推進します。

環境指標 (達成年度:平成29年度)

- 排水水質基準達成率100%
 - 下妻駅の乗降客数
570,000人/年
- など



鉄道を利用するのちエコ活動のひとつです(下妻駅)

将来を担う子どもたちに示す 下妻の未来 豊かな環境

下妻市環境基本計画 を策定しました



下妻市では、市・市民・事業者が協働で環境施策を推進する「下妻市環境基本計画」を策定しました。

この計画に掲げる環境将来像は「みんなの心が育む 人と環境にやさしいまちしもつま」と設定し、「下妻市に住んで良かった」「下妻市に住み続けたい」と感じる魅力あふれる元気なまち「いきいき下妻」の実現に向けて各種施策を展開していきます。

また、この計画は、環境の保全及び創造についての基本理念として定めている「下妻市環境基本条例」が平成24年9月に施行されたことに伴い、市内環境ボランティア団体や学識経験者などを中心に策定されたもので、市・市民・事業者の役割や果たすべき施策を計画的に推進していきます。

なお、計画期間は、平成25年度から平成34年度までの10年間となっております。

私たちの 基本的な役割

環境問題を解決していくためには、市・市民・事業者がそれぞれの立場で相互に連携を図りながら、次のような役割を果たすことが必要です。

【市の役割】

本計画に掲げる3つの基本目標「快適な住環境のまちづくり」「みどりと清流のまちづくり」「環境型社会へのまちづくり」を計画的に実践するため、関係機関との連携・協力をしていきます。

また、環境に関する情報の調査収集や提供、啓発を行い、市民・事業者が行う環境保全活動を支援することが求められます。

【市民・事業者の役割】

日常生活や事業活動で消費される「資源エネルギー」や廃棄物の排出などが、地域や地球環境に与える影響を認識しながら、環境負荷の低減や良好な環境の保全及び創造などに取り組みます。

また、市が実践する環境施策への協力をはじめ、地域を構成する一員として、地域における環境保全活動への積極的な参加が求められます。